岩手県立宮古恵風支援学校　学校通信

恵風だより

令和3年2月1日発行　No.10

学校評価結果を受けて

校長　坂井　廣幸

今年の冬はとても寒く、また例年以上に積雪量も多く、昨年の冬は雪があまり降らなかったので、まるで昨年とは違う場所にいるような気がします。県内の内陸部ではあまりにも多い積雪量に除雪車が十分対応できなかったところもあったと聞いています。本校までの通学路も１２月から降った雪がその後凍結し、車を運転する際には注意が必要です。

さて１１月に学校職員、児童生徒、保護者、関係機関等から学校評価のアンケートを実施しました。お忙しい中ご回答いただきましてありがとうございました。先日１月１８日に学校評議員会を開催し、本校の教育活動について学校関係者（学校評議員の方々等）から、貴重なご意見・ご提言等をいただきましたので、その提言等を次年度の教育活動に生かしていきたいと思います。これから校内で年度末の反省会議を開いて進めていきますが、今回の学校評価の結果を受け、より良い学校づくりのために課題を明らかにして改善していきたいと思います。学校評価の結果につきましては、３月上旬にホームページで公開いたしますのでご覧いただければと思います。

今回の学校評価の結果では「安全・安心の教育の場」という項目が、教職員並びに保護者の評価で昨年と同様に最も評価が低い結果が出ました。昨年４月に大雨で通学路の一部が崩れて通学バスが不通となり臨時休校となりましたが、このようなことが発生した通学路に不安を感じているための結果であると思われます。教育を行う場所が、安全・安心な場であることは必要最低条件なことであると思いますので、今後とも県教育委員会や宮古市と現状について共有し、通学路が寸断される非常事態に備えて「間借り授業」を行う場所の確保など、学習が途切れず継続されていくよう引き続き努力していきたいと考えております。

また、保護者からの指摘で評価の低い項目は「恵風お知らせメールが役に立っているか」という設問に対するものです。「判断に困る内容である」、「内容が分かりにくい」、「連絡が遅い」などの指摘があります。また「通学バスが遅れた場合には、逐一バスの通過場所を知らせてほしい」というご指摘もありました。このメールについては、状況を判断するのに時間がかかることがあり、ご指摘どおりに早めにメールを送ることが難しい場合もありますが、なんとか改善に向けて進めていきたいと考えております。今回の学校評価では反省する点がいろいろとありますが、一つの光明を見いだすものは、保護者の授業に対する評価が比較的高いことです。また児童生徒についてはほとんどの児童生徒が学校は楽しいという回答をいただきました。学びの場が楽しいと評価されることは私たち職員にとって大きな励みになります。これからも学校が楽しい場であるように勤めていきたいと思います。今後も改善につなげていけるようにご意見・ご要望等をいただければと存じます。

高等部　恵風クリエイト新年会

１／１５（金）に行われました。午前中は、作業班ごとに工夫を凝らし、みずき団子を作りました。その後、お汁粉を食べ、昼休みには、羽子板やけん玉などの正月遊びを楽しみました。午後は、体育館で玉合戦と福笑いで大いに盛り上がりました。

高等部全体で新年のスタートを祝うと共に、新たに始まる学校生活に意欲的に取り組む機会になりました。

現在、高等部玄関ホールにみずき団子を飾っております。ご来校の際は、ぜひご覧下さい。

小学部　雪遊び

例年になく雪が多く、気温が低い日が続いています。そんな毎日を吹き飛ばすかのように、小学部低学団のみなさんは、そり遊びや先生との雪の投げ合い等を楽しみました。満面の笑みで遊ぶ姿は元気に満ち溢れておりました。友達と関わりをもちながら、体をたくさん動かし、太陽の光をたくさん浴びることができたので、体力の向上にもつながっていくことでしょう。

中学部　校内作業製品販売会に向けて

２／１８（木）に実施予定の校内作業製品販売会に向けて、製品づくりに力を入れて取り組んでいます。作業班では、カレンダーやポチ袋、あぶらすいとるゾウを製作しています。各学級でも素敵な作品を準備しています。

素敵な先輩たち

１／２２（金）に実施した、高等部の「先輩に学ぶ会」に２年前の卒業生７人をお呼びしました。みなさん立派に成長し、一人一人の近況報告や、在校生からの質問に答えてくれました。

学校評議員会

１／１８（月）に開催されました。学校経営・学部経営の総括、学校評価の集計結果を学校から報告した後、評議員の皆様方から御提言をいただきました。内容につきましては、後日、学校ホームページに掲載する予定です。